



日本スーパーマーケット協会

平成24年12月 マンスリー レポート

集計企業数 60 社

① 売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売 上 高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売 上 高	前年同月比(前月)
総 額	57,508,769 万円	100.0%	101.8% (102.6%)	54,921,011 万円	99.1% (99.4%)
食 料 品	46,893,582 万円	81.5% (81.7%)	102.1% (102.0%)	44,815,431 万円	99.2% (98.7%)
農 産	6,526,302 万円	11.3% (11.3%)	104.4% (102.5%)	6,256,439 万円	101.5% (99.3%)
水 産	5,182,710 万円	9.0% (8.1%)	99.9% (100.8%)	4,943,385 万円	97.1% (97.4%)
畜 産	5,626,767 万円	9.8% (10.0%)	102.5% (102.8%)	5,363,438 万円	99.7% (99.6%)
惣 菜	4,984,445 万円	8.7% (8.7%)	102.7% (102.7%)	4,741,465 万円	99.3% (98.4%)
日配食品	9,970,776 万円	17.3% (18.3%)	102.3% (101.5%)	9,521,656 万円	99.5% (98.5%)
加工食品	14,602,582 万円	25.4% (25.3%)	101.5% (101.8%)	13,989,048 万円	98.7% (98.9%)
生活関連	4,290,091 万円	7.5% (7.3%)	100.6% (102.8%)	4,142,652 万円	98.5% (100.3%)
衣 料 品	2,308,904 万円	4.0% (4.4%)	97.6% (110.1%)	2,222,514 万円	95.7% (107.3%)
そ の 他	4,016,192 万円	7.0% (6.6%)	101.8% (105.7%)	3,740,414 万円	100.7% (101.9%)

② 数 値

全店総売上高	57,508,769 万円	店 舗 数	4,341 店舗
総売場面積	8,322,791.1 m ²	総従業員数	223,895 人

店舗平均月商	13,247.8 万円	平均客単価 (前年同月比)	2,003 円 (97.4%)
月間m ² 売上(前月)	6.9 万円 (5.7 万円)	平均店舗面積	1,917.3 m ²
月間坪売上(前月)	22.8 万円 (18.7 万円)	パート比率(前月)	77.4% (77.2%)

注) 総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

《 全体概況 》

- ・年末の悪天候により年末商戦は苦戦した
- ・12月の寒波、地温低下の影響による生育遅れで、野菜の相場高により単価上昇で農産売上は好調に推移した。
- ・月間を通して気温が昨年よりも下回り、鍋商材などホットメニューの動向が良かった
- ・調理時間の短縮や、「即食・簡便」などの傾向が進んでおり、和風調味料の動向が不調だった

《 商品動向 》

○ 農産

- ・野菜の相場高により売上は好調に推移した。そのためカット野菜類の動向が良かった
- ・気温の低下の影響により鍋需要が増大し、えのき、はくさい、大根などが好調に動いた
- ・果物では、いちご・干柿は気温の低下の影響で出遅れたため不調だった

○ 水産

- ・気温低下により鍋商材が好調に推移したが、ノロウィルスの報道が拡大後は生かきの動向が鈍った
- ・天然ぶりの水揚げが潤沢だったことを受け、動向が良かった
- ・前年に比べて相場の下がったまぐろ、たこ、ズワイガニの動向が良かったが、塩干では明太子、たらこ、いくらなど魚卵類の相場高となり売上は不調だった

○ 畜産

- ・牛肉の相場高の影響はあったが、すき焼き、煮物を中心に和牛・国産牛の動向が良かった
- ・豚肉は、国産うす切りを中心に動向が良かった
- ・鶏肉は、相場安の影響で単価ダウンを点数で補えず売上は苦戦した

○ 惣菜

- ・揚げ物類は堅調に推移した。冬の季節商材であるカキフライ、クリームコロッケの動向が良かった
- ・助六寿司、ちらし寿司、カツ丼など苦戦している中、にぎり寿司の動きは良かった

○ 日配・加工食品

- ・気温の低下に伴いホット商材（うどん、蒟蒻、豆腐、おでん材料、中華まん、スープ餃子など）の動向が良かった。
- ・野菜高騰の影響により、先月まで不振だった漬物の動向が回復基調となった
- ・ホット商材の鍋つゆ、シチュー、すき焼き・しゃぶしゃぶのたれ、など好調に推移した

○ 「クリスマス商戦」について

- ・予約ケーキでは、有名シェフシリーズの動向が良かったが、その他予約、店舗販売は不調だった。手作り用のスポンジケーキ台は好調に推移した
- ・スパークリングワインの動向が良かった。中でもノンアルコールの動向が良かった
- ・洋風メニューを取り入れた展開が好調だった。ピザ、パエリア、ハンバーグプレート、チーズ焼きなどチキン商材を併せたメニューでの動向が良かった

○ 「年末商戦」について

- ・和牛・国産牛のすきやき、焼肉の動向が好調に推移した
- ・サーモンなど洋風メニューの動向が良かった
- ・刺身盛り合わせ、たこ、カニなどが好調だった。全般的にはすぐに食べられる「即食」傾向の分野の動向が良かった
- ・おせちの予約販売が伸びており、手間を欠けおせちを作る家庭が減少した
- ・刺身盛り合わせ、オードブル、おせちセットなどの大型パックの動きは不振だった
- ・予約おせちでは、10,000～15,000円の価格帯の動向が良かった

以上